

ベトナム経済は4-6月期も高い成長を示す

実質GDPは前年同期比+8.39%と1-3月期から加速

2026年7月7日

外部環境の不透明感が強い中でも、4-6月期の実質GDPは高い伸び

ベトナム統計総局によると、2026年4-6月期の実質GDPは前年同期比+8.39%となりました。中東情勢の緊迫化や原油価格の高騰などを背景に4-6月期の実質GDPは1-3月期（同+7.94%）から減速すると見込まれていましたが、むしろ増勢を強め、4-6月期としては2011年来で最も高い伸びを記録しました。

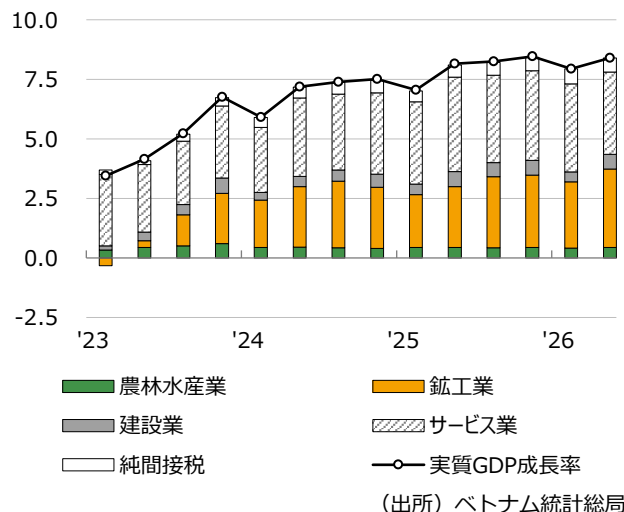
実質GDP成長率は2025年4-6月期以降、前年同期比+8%前後と高水準での伸びが続いています。高成長が継続する背景には、2024年8月に書記長（最高指導者）に就任したトー・ラム氏による経済成長を重視した政策運営のほか、中国からの供給網の移管が継続的に進んだことや、世界的な半導体需要の高まりを受けた電子製品・部品輸出の増加から外需セクターが堅調であることなどが挙げられます。

今後の見通しについては、中東情勢を巡ってなお不透明感が残ること、足下で実施中の通商調査の結果次第では米国が関税を引き上げる可能性があることなど、外部環境に起因した下振れリスクに留意が必要です。一方で、政府は2026~2030年の実質GDP成長率を年平均+10%以上とすることを目標とし、①法制度・行政や国営企業の改革、②インフラ投資の加速、③民間経済の成長促進、④技術革新や生産性向上など「質」を重視した成長モデルへの転換、などの抜本的な構造改革を通じて成長目標を達成する方針を示しています。今後も成長を優先した政策運営が経済を後押しすると期待されます。

株式市場では、AI・半導体への物色集中や米金利の高止まりを受けて上値の重い展開が続いていますが、堅調な経済動向や9月予定のFTSE指数での格上げ発効などから株価には見直し余地もあると考えます。

実質GDP成長率と産業別寄与度

(前年同期比、%) (2023年1-3月期~2026年4-6月期)



実質GDP成長率と政府の成長目標

(前年比)	2024年	2025年	2026年
政府の成長目標	6.0~6.5%	8.3~8.5%	10%以上
達成状況	○	×	-
実質GDP成長率	7.0%	8.0%	8.2%
最終消費支出	6.6%	8.0%	8.2%
総固定資本形成	7.2%	8.7%	15.2%
輸出	15.5%	16.3%	20.2%
輸入	16.1%	17.1%	26.4%

※2026年の「実質GDP成長率」以下は1-6月期の前年同期比

(出所) ベトナム統計総局

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。